

第10回
イノベーション創出若手人材養成
プログラム（イノベ・プログラム）
成果報告会

令和2年3月16日（月）14時30分～

岐阜大学地域科学部第1会議室

キャリア支援部門特任教授 吉田 敏

育成状況報告

1. 2019年度**プログラム**[#]のスケジュールと全体の参加人数

2. **スキルプログラム**の状況（**研修生**と**聴講生**）

2.1 エンライトメント・レクチャー（EL）

2.2 アイディア・トレーニング・キャンプ（ITC）

2.3 ビジネス英語（BE）

3. **長期インターンシップ**の状況（**研修生**）

4. 広島大学**HIRAKUプロジェクト**との連携

5. 岐阜大学・未来博士と企業との**交流会**
名古屋大学・企業と博士人材の**交流会**

6. 今後の予定

イノベプログラムについて：2010年4月文科省支援の下開始（1期）、2014年度（5期）で終了（平均して毎年10名前後のDC・PDが参加）。2015年度から大学独自で再スタート、2019年度で10期目。

企業等を志向する若手人材の育成プログラムを、主としてDC・PDを対象に実施。アカデミアのテニュアトラック教員を志向した支援には力点を置いていないが情報提供は行う。



1. 19年度プログラムのスケジュールと全体の参加人数

●**エンライトメント・レクチャー(EL)**：5月24日～7月12日
(8回、金曜日 4限14時45分～16時15分 (90分) **英語**で)

*20年度は改変される。

1単位

受講者 3名： 講師 8名

●**アイディア・トレーニング・キャンプ(ITC)**：5月22, 23, 24日 (3日間; 水午後、木1日、金午前) 集中セミナー形式

1単位

受講者 15名： (D1, 9名; D2, 6名)

●**ビジネス英語(BE)**：4月～7月 (15回火曜日)

2単位

受講者 10名： (1クラス) 担任：マリオ先生 (Prof. MARIO Nonkobikj)

○**学外研修プログラム (長期インターンシップ(LIS))**：19年4月～20年3月、

1単位

研修生 1名 (18年度)：17年度研修生2名は19年度にも修了できず (研究科の短期インターンシップに参加)

*研修生は、すべてEL, ITC, BE, LIS に参加できる (5単位以上でプログラム修了証を授与)。聴講生は、EL, ITC, BE を受講できる (3単位以上で修了証 (講義) を授与)。

19年度は、延べ29名 (実質16名) 参加：内 プログラム修了証 (LIS含む5単位取得、1名)、修了証(講義) (3単位以上取得、9名+1名)

岐阜大学・博士後期課程大学院生

岐阜大学 工学・連農・連創（連獣）研究科 （医学系研究科（188名）はプログラムの対象としていない）

2019年度 岐阜大学博士後期課程院生（3研究科）

全体 **250名**

（内 日本人 128名、留学生 122名）

D1 **61名**

D2 **72名**

D3 111名

PD 6名（他の大学・機関でPDになっているものは入っていない）＊修士（前期課程）は970名

因みに、**名古屋大学**の博士後期課程院生の総数は1600名（内、理系は**950名（8研究科）**；前期課程は2900名）

イノベ・プログラムへの参加率：
約12%（定員は約17%）

工学研究科

連農・連創研究科

D1 33名

D1 28名

D2 36名

D2 36名

D3 51名

D3 60名

PD 2名

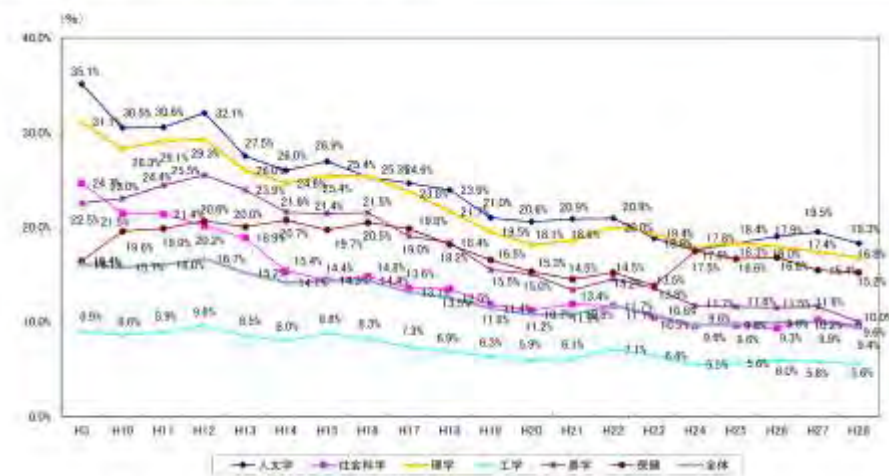
PD 4名

D1の留学生率
61%

D1の留学生率
50%

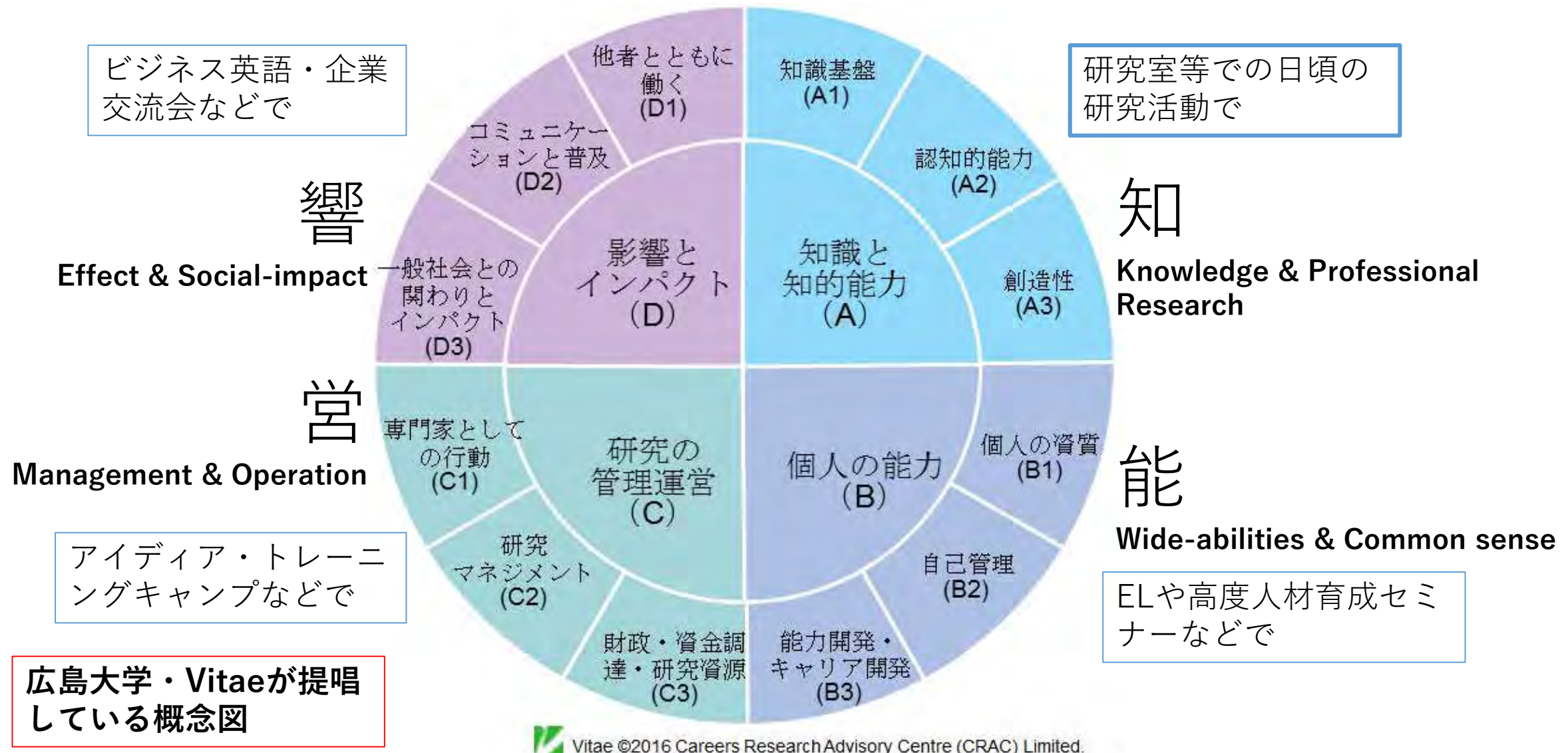
修士課程修了者の進学率の推移（分分野別）

○修士課程修了者の博士課程への進学率は減少傾向。



社会が求める博士人材の能力と養成

Social Abilities of PhDs



2. スキルプログラムの状況

2.1 エンライトメント・レクチャー (EL)

内容としては、電気電子系、機械系、食品系、医療医薬系などの企業人からの講義だけでなく、著作権やビジネス人基本スキル、マーケティングなどの講義もあり、多彩な分野からの話を聞き、研究開発・マネジメント能力の養成を目指した。**修士課程の学生も聴講できるように呼びかけた。**

19年度の授業では、各講義は半分以上、英語も交えて開講されたが、受講者は3名。ただし、4回目の授業は15名以上の参加。
18年度授業は、ビデオに保存されており、一部英語と日本語の字幕を付けている。

20年度は、**ELは中止**し、代わりに**高度人材育成セミナー**が10コマ、修士および博士課程の学生を対象に実施される予定である。



2019 年度エンライトメント・レクチャー
金曜日 4 限 (14:45~16:15) 全学共通教育棟 31 番教室

*これらの講義は、日本語と英語を交えておこなわれます。
These lectures will be held with Japanese and English.

タイトル	講師	開講日
1 医薬品産業における酵素の利用と 企業で期待される人材像 Use of Enzymes in the Pharmaceutical Industry and Expected Human Resources	エンザイムテクノ (Enzyme Techno) 代表 廣瀬 芳彦 (Yoshihiko Hirose)	5/24
2 著作権に関する Q&A Q&A regarding Copyright	岐阜大学 研究推進・社会連携機構 知的財産部門 知的財産マネージャー 神谷 英昭 (Hideaki Kamiya)	5/31
3 価値づくりによる食品開発 Food Development with Co-working	不二製油 (株) (Fuji Oils) サイエンスイノベーションセンター 副センター長 伊吹 昌久 (Masahisa Ibuki)	6/7
データサイエンティストという職業選択 Data Scientist Career Path	TDSE株式会社 (Tachikawa Data Science& Eng.) 総括長 池田 拓史 (Hirofumi Ikeda)	6/14
5 ビジネス人必須基本スキル習得 Essential Basic Skills Acquisition for Business People	三菱 UFJ R & C (株) (Mitsubishi UFJ) コンサルティング・国際事業本部経営戦略部 チーフコンサルタント 吉川 由香里 (Yukari Yoshikawa)	6/21
6 マーケティング戦略的思考とは Strategic Thinking of Marketing	株式会社電通 (Dentsu) 顧客ビジネス局シニアコンサルタント 安藤 真澄 (Masumi Ando)	6/28
7 ソフトウェア開発にこそ活かせる研究のスキル Leverage your Research Skills in Software Development	(株) イエス (IES) 開発部サブマネージャー 花植 康一 (Koichi Hanaue)	7/5
8 医療分野におけるアントレプレナー Entrepreneurs in the Medical Field	株式会社キュービクス (Kubix) 代表取締役社長 丹野 博 (Hiroshi Tanno)	7/12

2.2 アイディア・トレーニング・キャンプ (ITC)

5月22日～24日に柳戸会館1階集会室にて、15名の参加。

第1日目は、午後1時から始まり、まず**全体討論**。テーマは、「**AI時代における博士の能力とは何か？**」、**英語**でのフリーディスカッションを約45分。

全体討論のあと、**参加者全員が各研究概略の発表**。発表時間は一人当たり5分。

翌日どの発表テーマを選び改善していく（リファイン）対象とするかについて、4**グループに分かれて議論**していく。1日目は午後6時前に終了。

2日目は、朝9時から開始、まず**発表内容のリファイン**の方法を書いた文書を渡し、グループ分けを行った。パソコン編集作業が必須、プロジェクターやホワイトシートを使いながら、**分かり易く印象的な発表**をするための議論を進めて、夕方終了。議論は基本は英語だけ。2部屋使用。

3日目も朝9時から開始、9時10分ごろから**分かり易くリファインした内容の研究発表**を各予定者が順次始めた（英語で発表）。4つのグループ各20分の研究内容の発表、と10分程度の質疑応答で進行した。

最後に、参加者皆にアンケートを記入してもらい、**各賞選考**の投票。各賞としては4件の発表の中から、ベストリファイン賞1件、ベストプレゼン賞2件、それと努力賞1件を選んで終了。



2.3 ビジネス英語 (BE)

19年度は、連合農学研究科の部屋を使って、**1クラス10名**の参加で行った。

English-nativeのマリオ先生によるセミナー形式の講義で、**英語でのプレゼンの仕方を実践的に学ぶこと等**ができる。

2018 Business English - 10:30~12:00 2限					
	日程	講師	時間		内容
1	4/11 (WED)	マリオ	10:30 12:00 (90min)	プレゼンテーションに必要なスキル	1. Introduction to Public Speaking - The 3C's 2. STAGE 1 - Presentation Coherency: Flow & K.I.S.S. The Introduction - Greeting, What, Why, Overview - Practice The Body - How to use Evidence in the Body - how to use transitions - how to use sequencers The Conclusion - why do we need conclusion? - how to make a powerful conclusion? - practice making conclusions
2	4/18 (WED)		10:30 12:00 (90min)		
3	4/25 (WED)		10:30 12:00 (90min)		
4	5/9		10:30 		3. STAGE 2 - Charisma with the Physical Message - Posture and Eye Contact

3. 長期インターンシップの状況

●例年、前年度プログラムの研修生が2年目で長期インターンシップをおこない、その年度の終わりに修了するというやり方が取られている。**19年度**は、D2が一人、広島大学**HIRAKUプロジェクトのもとで長期インターンシップ**を受けた。6月～8月の約2カ月間（受入れ機構より日当等支援あり）。

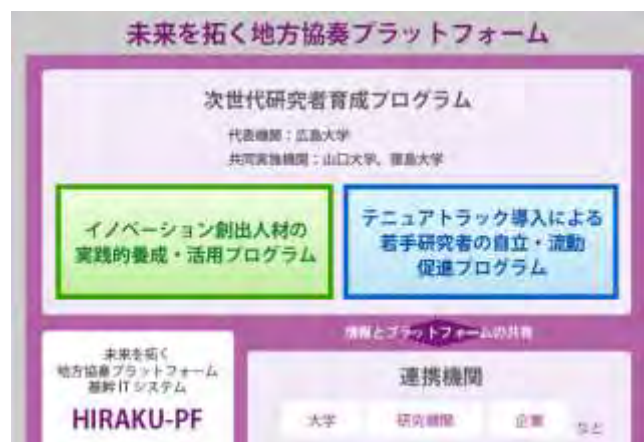
（工学研究科・**林兼輔さん**、**物質・材料機構にて**：あとで報告）

○16、17、18年度も、1名ずつHIRAKUプロジェクトのお蔭で2カ月の長期インターンシップを完了している。
岐阜大学でも、イノベプログラムの長期インターンシップを実施するための宿泊費の一部の支援はできる体制になっているので、19年度はこれも利用した。

○イノベプログラムの17年度聴講生で、17年度、18年度とHIRAKUの**3 MTコンペに参加し**、その参加企業とコンタクトをとり10日間のインターンシップを大手企業研究所の負担で実施できた（18年度）例もある。

学外研修プログラム (インターンシップ)	1月以上3月未満 for more than 1 month, under 3 months	1単位
	3月以上 for more than 3 months	2単位

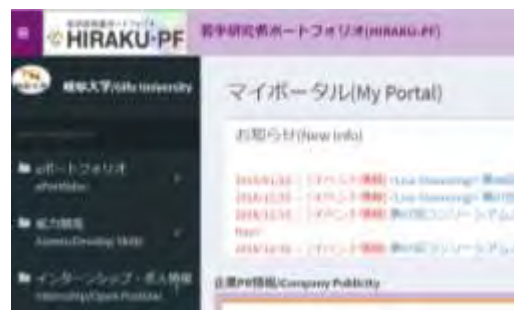
4. 広島大学HIRAKUプロジェクトとの連携



平成26（2014）年度に開始した広島大学を中心とした「**未来を拓く地方協奏プラットフォーム**」（HIRAKU）プロジェクトに**岐阜大学も連携機関として参加**している。HIRAKUは、テニユアトラック教員採用の支援も行っている（19年度以降も）。

特に、2016、17、18、19年度の**長期インターンシップ**では岐阜大学のDC院生合計4名が大きな支援を頂いた。（**各デンソー、TDSE、理化学研究所、物質・材料機構で約2カ月間の研修を受けた**）

岐阜大学イノベプログラムに参加している研修生、聴講生は、このHIRAKUプラットフォームに登録して、様々な情報の提供を受けるだけでなく、企業・研究機関からのコンタクトを受けることができる（**イノベプログラム登録者は各自マイポータルサイトでポートフォリオを作り保存する**）。



HIRAKUプロジェクトが催すイベントの一つ、「**3分間コンペティション（3MT）**」は、インターンシップ面談の役割も果たしており、18年9月の3MTには岐阜大学から5名が参加し（D1, 3名；D2, 1名；D3, 1名）、3名が受賞し、1名は19年度の国際大会に参加した。（あとでご紹介）19年度にも英語部門に一名留学生が参加。

浅野さんの発表

1. 2018年 [3分間コンペティション](#) （広島大学） ＊リンクなし
2. 2019年 [Asia-Pacific 3MT](#) （オーストラリア） ＊リンクなし

2019 Finalists (3)

[3MT Asia Pacific Final 2019 - Jessica Bohorquez](#)

3MT Asia Pacific Final 2019 - Lithin Louis
<https://vimeo.com/365417373>

5. 未来博士と企業との交流会

2018年度に初めて開催した。（育成会企業*を含め、今回は名古屋大学からご紹介を頂いた企業からの参加あり）

DC・PDの大学院生・研究員が4名参加、2名が発表、企業からも、育成会企業を含め、**6社12名**の参加を得て（18年度は5社10名）、6社から発表があった。（合計20名）

Part 1.では、大学院生2名から各4分程度（3 + 1分）の研究概要の発表と質疑応答があった。

Part 2.では、2時ごろから6社から企業紹介の発表が各3分程度あり、学生や教職員からの質問があった。

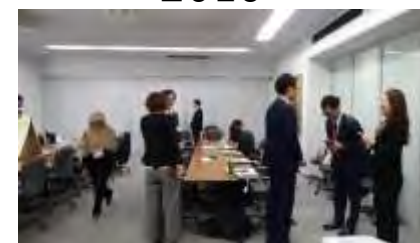
Part 3.では、**学生によるポスター発表と自由な懇親交流会。**

DC/PDは、色んな機会を捉えて自分の技術と能力を企業にアピールして知ってもらう機会をたくさん作る必要がある

2018



2019



この交流会は、**若手人材のシーズと企業のニーズのマッチングの場**、であり、イノベ・プログラムの**実践の場**でもある。

* 育成会は平成23年4月発足、8年目に入る。平成31年3月時点で34社（企業・機関）が参加。

この交流会は、**名古屋大学（企業と博士人材の交流会）**等と連携を強めていく。

Company Meets Future PhDs

参加者・発表者 募集!

岐阜大学

第2回イノベーション創出若手人材 養成プログラム+産学交流 2019

博士後期課程学生(DC)・ポストドクター (PD)のための

未来博士と企業との 交流会

日時: 2019年11月27日(水)13:00~17:30

場所: 岐阜大学 柳戸会館1階 大会議室

Part 1. DCによる口頭発表(3+1分 研究概要発表) 限定数
Part 2. 企業発表(予約企業のみ、3+1分)
Part 3. DC・PD Poster Session & 懇親交流会(Exchange Meeting, Free discussion)、院生+指導教員+企業担当者 (with Buffer party)

ポスター発表者エントリー募集! 参加企業は育成会の34社を中心にして自由参加 (必ず前もってお知らせください! 参加費を頂きます)。院生教職員は参加費無料! 応募先はホームページから応募してください。

発表・参加希望者はメールでお知らせください (career@gifu-u.ac.jp) エントリー締切 11/13

お問い合わせ 岐阜大学 教育推進・学生支援機構 キャリア支援部門 (担当: 吉田) TEL 058-293-3492, Email career@gifu-u.ac.jp URL https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/career/

6. 20年度の予定

1. イノベーション創出若手人材養成プログラムの運用主体が、キャリア支援部門から、**キャリア教育部会（基盤教育センター）**に変更

2020年4月からイノベ・プログラムは再出発、改良したスキルプログラムと長期学外研修を実施します！

2. **名古屋大学との法人統合に伴い、セミナーや企業との交流会など名大と連携協力を強める**

3. イノベ・プログラムのスキルプログラムのうち、**エンライトメント・レクチャーは中止**、その代わり「**高度人材育成セミナー**」を開催。**修士課程と博士課程が対象**

その他のプログラム、**ビジネス英語とアイディアトレーニングキャンプ**は引き続き行われる（単位取得可能）。

2020 高度人材育成セミナー

講師（会社名）（水 or 金の4限目 14時45分～、工学部 101/102教室）（タイトルは仮）

- | | |
|-------------------------------------|------------------|
| 1. 木幡（TDSE）データサイエンティストへの招待 | 5/27 水 4限目、工 101 |
| 2. リ・ネイ（TDSE/卒業生）異分野に進むこと {特に留学生向け} | 6/17 水 工 101 |
| 3. 花植（IES）今後の情報系業界に必要な高度人材とは | 6/24 水 工 101 |
| 4. 伊吹（不二製油）今後の食品業界で研究を生かすには | 7/15 水 工 101 |
| 5. 太田（太田油脂）、食品業界に必要な高度人材 | 7/22 水 工 101 |
| 6. 丹野（キュービクス）医療・製薬業界での起業 | 10/23 金 工 102 |
| 7. 丹羽（鍋屋バイテック）ものづくり業界に必要な人材 | 10/28 水 工 101 |
| 8. 森（元 NHK アナ）自分を売り込むプレゼンのやり方 | 11/13 金 工 102 |
| 9. 小池（花王）化学業界に必要な高度研究人材 | 11/20 金 工 102 |
| 10. 廣瀬（エンザイムテクノ）製薬業界に必要な高度人材 | 12/11 金 工 102 |

